

新宗教新聞

信教の自由を守ろう
信仰心を広めよう
宗教協力を進めよう
世界の平和に貢献しよう

新宗連スローガン

マイナンバー施行1年
現状の課題と対応を学ぶ
すみやかに規程書類の整備を

昨年運用が開始された「個人番号(通称、マイナンバー)」。政府は、税と社会保障分野をはじめとして、行政の効率化、税の公平な負担などに資する...

(表) 宗教法人が備えておくべきマイナンバー事務関係書式一覧

Table with columns: マイナンバー事務関係書式, 大法人, 中小法人. Lists various forms like ①特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針...

*中小法人(「小規模事業者」)は従業者数100人以下...
△は必要に応じて選択(たとえば、関係業務をすべて法人内で行う場合③④は不要だが、一部を外部に委託する場合は③、全部を外部に委託する場合は④が必要)

教授の石村耕治氏を講師に招き、「マイナンバー施行から1年」その現状と課題をテーマに、施行から1年を経過したマイナンバーの現状と今後の見通し...

拉致問題 平和学習会始まる
今月から総支部・協議会で開催

新宗連は平成29年度の重点事業として、北朝鮮による拉致問題の早期解決を掲げ、今月から全国の総支部...



家族の悲しみを語る飯塚氏(広島)



荒木氏は調査会活動を説明(東京)

5日には首都圏総支部長(島田華代)が、立正佼成会法団代表の飯塚繁雄氏が講演...

漁々抄

20数年前、新宗連は「環境共育セミナー」を全国で開催してまいりました。ネイチャーゲームと人間関係トレーニング...

最低限の対応を
民事上の責任も

他方、石村氏は「法律で決まらずに最低限の対応はしなければならぬ」として特定個人情報(マイナンバー)付き個人情報等...

新宗連 熊本地震支援活動
FMラジオ番組が継続

17日には北関東総支部(新潟市)が、新井光興会長(新潟市)のホテルで総務を対象に開催...

新宗連 熊本地震支援活動
FMラジオ番組が継続

新宗連の熊本地震第3次スタート。毎月4回、第2支援活動として、震災後を懸命に生きる被災者に対し...

宗教もしも相談室
3466-9900
受付●月曜～金曜/正午～午後4時

清文社
宗教法人の
税務調査対応ハンドブック
石村耕治 編

神宮祭祀の研究
神宮式年遷宮の歴史と祭儀
中西正幸 著

パラダイム
所得税0への道
著・太田哲一

佼成出版社
鳩摩羅什
法華経の来た道

白馬社
合掌ができない
子どもたち

現代世界と宗教の課題
宗教間対話と公共哲学
星川啓彦 山崎直子 斎藤謙次 濱田由徳 著

政教分離の会 公開学習会

信教の自由侵害に危機感

島蘭進氏宗教と政治について講演

「政教分離の侵害を監視する全国会議」(政教分離の会、西川重則事務局長)は3月25日午後1時半から、東京・代々木の新宗連会館で公開学習会「安倍政権と政教分離—国家と宗教、宗教ナショナリズムを問う」を開催した。

はじめに東京・靖国訴訟原告団弁護士の井堀哲氏が、安倍晋三首相の靖国神社参拝(2013年)に対し、「政教分離」違反として提訴した東京・靖国訴訟までの経緯と請求の趣旨、

「神権の国体観念」と「神権の国体観念」に基づき、神権の国体観念に基づく全島蘭氏が日本の宗教と政治について講演した。

「神権の国体観念」と立憲主義は、理論的にも実質的にも調和のとれたものではなかったと分析した。

大正デモクラシーを経て、立憲主義は影を潜め、神権の国体観念に基づく全島蘭氏が日本の宗教と政治について講演した。

世界宗教者平和会議日本委員会(WCRP)日本委員、野野田誠会長、杉谷義純理事長は、WCRP国際委員会と共に、NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)」と合同で、「核兵器禁止条約提言ハンドブック」(写真)を作成し、3月25日にニューヨーク市内で発表した。

同ハンドブックは3月27日から国連で開始された核兵器禁止条約交渉会議に対し、宗教者や市民社会の声を届けるために作成された。核兵器の非人道性アブ

「神権の国体観念」と立憲主義は、理論的にも実質的にも調和のとれたものではなかったと分析した。

大正デモクラシーを経て、立憲主義は影を潜め、神権の国体観念に基づく全島蘭氏が日本の宗教と政治について講演した。

世界宗教者平和会議日本委員会(WCRP)日本委員、野野田誠会長、杉谷義純理事長は、WCRP国際委員会と共に、NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)」と合同で、「核兵器禁止条約提言ハンドブック」(写真)を作成し、3月25日にニューヨーク市内で発表した。

同ハンドブックは3月27日から国連で開始された核兵器禁止条約交渉会議に対し、宗教者や市民社会の声を届けるために作成された。核兵器の非人道性アブ



島蘭進氏が日本の宗教と政治について講演した。

WCRP・I CAN 核兵器禁止条約へ向けハンドブックを発表

世界宗教者平和会議日本委員会(WCRP)日本委員、野野田誠会長、杉谷義純理事長は、WCRP国際委員会と共に、NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)」と合同で、「核兵器禁止条約提言ハンドブック」(写真)を作成し、3月25日にニューヨーク市内で発表した。

同ハンドブックは3月27日から国連で開始された核兵器禁止条約交渉会議に対し、宗教者や市民社会の声を届けるために作成された。核兵器の非人道性アブ

「政教分離の侵害を監視する全国会議」(政教分離の会、西川重則事務局長)は3月25日午後1時半から、東京・代々木の新宗連会館で公開学習会「安倍政権と政教分離—国家と宗教、宗教ナショナリズムを問う」を開催した。

はじめに東京・靖国訴訟原告団弁護士の井堀哲氏が、安倍晋三首相の靖国神社参拝(2013年)に対し、「政教分離」違反として提訴した東京・靖国訴訟までの経緯と請求の趣旨、

「神権の国体観念」と「神権の国体観念」に基づき、神権の国体観念に基づく全島蘭氏が日本の宗教と政治について講演した。

「神権の国体観念」と立憲主義は、理論的にも実質的にも調和のとれたものではなかったと分析した。

大正デモクラシーを経て、立憲主義は影を潜め、神権の国体観念に基づく全島蘭氏が日本の宗教と政治について講演した。



核兵器禁止条約交渉会議に向けたハンドブックの発表式。

第19期役員教団を選出 議長教団に真宗大谷派

「同和問題」に深く関与する真宗大谷派が、議長教団に選出された。第19期役員教団を選出する「同宗連」(真宗大谷派)は4月10日午後1時から、東京都下京区の本願寺で第37回総会を開催した。

議長教団に選出されたのは、真宗大谷派の代表者である。第19期役員教団は、議長教団に選出された真宗大谷派、副議長教団に選出された浄土真宗本願寺派、世界教団の代表者から構成される。

ひとりで悩まず電話して! ホントにつらい時って誰にもいえない...よね。

●必要に応じて面接をしています。
●手紙でのご相談にも応じています。
●秘密は守られます。
●相談は無料です(通話料はかかります)。
●金銭的な援助はできません。
●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
●特定の思想・宗教・政党などとは一切関係ありません。

NPO法人 国際ビランダーズ 東京自殺防止センター
03-5286-9090
年中無休、夜8時から翌朝6時まで
火曜のみ午後5時から翌朝6時まで